

生長の家神の国寮だより

光の泉

the spring of light



令和5年6月号

公益財団法人 生長の家社会事業団
児童養護施設 生長の家神の国寮
〒186-0003
東京都国立市富士見台2-39-1
tel 042-572-8770
fax 042-573-9205
http://www.kamino92.or.jp

頑張る子ども達、
支え励ます職員各位に
「幸多かれ」と祈る日々

施設長 國弘昭義

新年度を迎え、新型コロナウイルス類移行とともに日常が戻りつつあります。コロナ禍の3年間、様々な制約の中で子ども達も職員も本当によく耐えよく頑張り抜いてくれました。改めて、ご支援賜りました皆様に心より感謝申し上げます。
本号では、こうしたコロナ禍でも頑張った子ども達とそれを支えた職員各位の奮闘努力を振り返り讃嘆したいと思います。

支部大会優勝！ 得点王 MVP！

新学年となり、Aさんはバスケット部の副部長に選ばれました。

コロナ禍での2年間、ほとんど毎日朝練にも遅刻することなく参加しひたむきに日々の練習を重ねてきました。その結

果チームを支部大会優勝に導き得点王 MVP に選ばれ、見事に部活と学業を両立してきました。顧問からプレーに対して怒られることもありましたが、持ち前の明るさ、謙虚さ、優しさをもつて

チームメイトともコミュニケーションを取り、より良いチーム作りに貢献しています。

いつもAさんの話を聞き、頑張りや活躍を褒め、モチベーションが上がるように一緒に買い物に行くことを心懸けています。というB職員の言葉を紹介します。

「当たり前毎日を大事にして、安心して生活が出来る場所を作り、毎日の練習に取り組むことができるように支援しています。努力すれば結果は必ずついてくる！ Aさんを見てると常々思います。『本当にすごい！ よく頑張った！』と言う気持ちです！」

サッカーボールに穴が開くほど・

昨年入学してすぐにサッカー部に入部したC君。一年生ながら全国規模の大会に出場しました。応援に駆けつけたD職員は次のように話してくれました。

「大会出場メンバーの選考が部活内であるとのこと、その後は毎日のように

公園で自主練習をしたり、ごうかいでメーカーコーンやリバウンドネットなどの練習用品を購入し、サッカーボールに穴が開くまで練習しています。今では4個目のボールです（最初は安いものを買っていましたがそれは耐久性がなくすぐに破れてしまう為、今はかなり良いものを使っています。それでも穴は開きます。それくらい頑張っています）。

大会出場選手に選出されてからも、サボることなく練習を続け、大会では1年生ながらスタメン出場する場面もありました。結果的にチームは3位入賞。ですが本児は『今年は優勝できるくらい強いチームだった。負けてしまった先輩たちに申し訳ない。勝たせてあげたかった。来年は絶対に優勝する』とさらに上を目指して、現在も毎日練習に励んでいます。悔しさを糧にさらなる成長を期待したいと思いつつ、頑張り過ぎる姿を見て職員としては心配にもなります。頑張りや認め、時には休むことは必要であることを伝え、今年もまた応援に行かせてもらいたいと思います。」

「自信力」が身についた！

Eさんは自ら希望して一昨年から週に1回陸上スクールに通い始めました。その後アスリートコースが開設されることになり選抜メンバーに選ばれました。週2回休まず陸上競技場での練習に言い続け、6年生になってからの大会では決勝進出。男子と共に走り3位入賞。中学生になっても陸上を続け、中学生大

勝進出。男子と共に走り3位入賞。中学生になっても陸上を続け、中学生大

会の出場を目指しています。

ホーム職員はEさんの送迎を行い練習に付き添い、行き帰りの車内では陸上の話だけでなく様々な話をする貴重な時間となっています。担当のF職員は彼女の成長ぶりを次のように語ってくれました。

「Eさんは、陸上を始めてから得意分野が見つかり自信がつけました。自分の意見や想いを言えなかったEさんが、みんなの前でタイムが早くなったことを嬉しそうに教えてくれます。また、自分の活躍を知られたくない、誰にも言わないで欲しい、大会も観に来ないでいいと言っていたEさんが3位入賞のトロフィーを本園の棚に飾って欲しいと言ってくれました。ホーム職員だけでなく施設職員みんなから祝福されて、まんざらでない様子です。今ではできることも増え、面見が良くて、学校ではクラスの中心にいるようです。それも陸上を続けて自信がついてきたからだと思えます。中学生になり新しいことに不安も多いと思いますが、これからもEちゃんを応援していきたいと思えます。」

コロナ禍でも、「やればできる！必ずできる！」と子どもに宿る無限の可能性を信じて支援を続けてくれた職員皆さん、そしてコロナ禍を乗り越え、自分の限界を乗り越え、明るく逞しく日々生長する神の国寮の子ども達みんなに、「幸多かれ」と祈る日々です。

